

日 時	令和6年1月22日(月) 14:30~16:15	場 所	四万十市役所 3階 防災対策室
内 容	令和5年度 第4回 旧下田中学校・旧中医学研究所有効活用検討会		
次 第	1 開会 2 日程説明 3 報告事項 (1) 有効活用の提案説明について (2) その他 4 検討事項 (1) 有効活用案の評価について (2) その他 5 その他 6 閉会		
出席者	岡村会長、阪本副会長、宮村委員、尾崎委員、宮崎委員、佐田委員、三浦委員、山本委員、片岡委員、久保委員、前田委員、有原委員、須山委員、山下委員、武田企画広報課長、田邊室長、永野主幹		
会議の概要と結果			
岡村会長	1 開会 委員 15名中 14名が出席し会議を開会。		
事務局	2 日程の説明 会次第に沿って日程を説明。		
事務局	3 報告事項 (1) 有効活用の提案説明について セントラルキッチンの提案者より、第2回検討会プレゼンにて質問のあった内容について補足資料【資料①】の提出があったため、その内容を事務局より説明。		
片岡委員	セントラルキッチン施設整備にかかる財源はどうなるのか。		
事務局	施設整備する財源については、基本的に業者が負担することになる。国、県、市から補助金を出すことが想定されるが、現時点で合致した補助制度は無いため財源に関しては課題があると考えている。		
	(2) その他 旧下田中学校校舎の避難所利用について、継続して地元協議を行っている。前回報告後の具体的な進捗としては		
	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎トイレ用スペースへ仕切り設置 (設置済) ・校舎内の危険箇所への安全措置 (年度内に実施予定) ・床用畳の購入 (年度内に実施予定) ・組立式トイレ整備のための予算措置 (現在予算要望中) 		
宮崎委員	地元協議について事務局から話があったが、地元としては能登半島地震を踏まえ防災		

	<p>面で市に対し別途要望することを考えている。</p>
有原委員	<p>地域の保護者から、能登半島地震も踏まえ、子どもたちの安全確保のため早く決めてくれという声も聞いている。高台の有効活用について、地元と地域保護者は保育所小学校の高台移転を求めている。</p> <p>セントラルキッチンの話があったが、大学誘致が頓挫した際に市長からまず地元の要望を聞いていくという話もあった。第1回目にもお願いしたが、どうすれば集中審議をしていただけるか相談したい。</p>
事務局	<p>検討会の役割における審議は、幅広くご意見をいただくためのものとなる。</p> <p>検討会では有効活用を検討する上で防災機能を確保すると共通認識として整理したうえで、今後の活用について検討していただきたい。</p> <p>防災面に関しては、活用が決定するまでも途切れなく検討を続ける必要があり、具体的にどう機能を確保していくかについては別の場で検討しているためご理解をいただきたい。</p>
岡村会長	<p>検討会の目的は、多様な委員から多様な有効活用案を出していただくこととしており、防災に関してはこの場でなく他で議論をしていると理解している。</p>
尾崎委員	<p>旧下田中学校の有効活用についての検討会という認識だが、保小の高台移転は有効活用ではないのか。</p>
岡村会長	<p>保小の高台移転は、有効活用案としても挙がっており、今後も議論される内容になっている。この場で議論していくという理解でよい。</p>
宮崎委員	<p>保小の高台移転という喫緊の課題については他案と分けし議論を行わないかという提案であり、有効活用の範囲内にあるのではないのか。</p>
事務局	<p>有効活用案の一つである。</p>
岡村会長	<p>これまでの検討会と同様に、本日の検討会においても保小の高台移転は優先的に議論する議題となると考えている。</p>
	<p>4 検討事項</p>
	<p>(1) 有効活用案の評価について</p>
岡村会長	<p>検討会として有効活用案の中から優先的に考えるべきものを絞っていきたい。</p> <p>その後、市側が実現可能性を検証し、次回検討会で更に協議を深めていくことになる。</p> <p>本日はプロジェクトチーム（以下、PTとする）で作成した評価資料の評価内容等について議論するのではなく、評価資料をもとに委員各位においてそれぞれの立場、専門性にに基づき、優先度の高い活用案など、さまざまなご意見を頂きたい。</p>
事務局	<p>委員に対し、PTでの有効活用案評価結果について説明。【資料②】</p>

	<p>評価結果の内容については、あくまでも検討会で協議を行うための資料として作成したものであり、評価を決定づけるものではない。また、評価が高い事業を必ずしも選択するものではない。</p>
岡村会長	<p>【資料②】はあくまで参考であるため、意見等あればこの場で主張していただきたい。</p> <p>個人的には、財政負担が軽いことを理由に特定の案を選ぶことはない。地域にとって何が必要か、四万十市もしくは幡多地域にとり何が必要かという議論が検討会ではされるべきではないか。その後の実現可能性については、専門の方に検証していただくのがよいと考えている。</p>
片岡委員	<p>自主防災会の立場から、まず大事なのが防災である。下田は周辺地域の防災拠点ともなりえる。13番のセントラルキッチン是他空き校舎でも考えられるため、旧下田中学校に作らずともよいのではないかと考えている。</p>
岡村会長	<p>防災が基本ということは、過去の検討会でも話し皆が共通するところである。それを踏まえて13番は他でも良いのではないかとのご意見であり、単に案として完全に排除するわけではなく、防災に対して何か影響を及ぼさなければ、という前提条件付きのものとして捉えている。</p>
宮崎委員	<p>計画の整合性等を鑑みた場合、1番の下田保育所及び下田小学校の高台移転が最も合致している。その他の提案は四万十市立小・中学校再編計画（第2次）に合致していない。</p> <p>旧中医学研究所に関しては、4番の評価が高いが、指定避難所であるということを踏まえた時に、より優先して1番の議論を行うべきである。</p>
岡村会長	<p>1番と4番について不可欠であり、最低限それらの実現可能性が担保できるうえで、それに加えて何かをとのご意見だったと捉えている。</p>
山本委員	<p>1番は最優先でやるべきである。また、福祉の立場から旧中医学は4番の子育て複合施設が凄く良いと感じたのと併せて、2階については8番のフレイル予防センターを取り入れ、子どもと高齢者が一緒に交流できれば良いなと思った。</p> <p>13番に関しては、ここでなくてもよいのではとの意見もあったが、災害時に食材を提供してもらえるとという面では、魅力を感じている。何とか組み合わせることが出来ないかと考えている。</p>
岡村会長	<p>学校とセントラルキッチンの併設が可能かという論点もあるが、それは今後の検証に任せても良いのではないかと。</p> <p>委員の皆様には絶対にやって欲しいこと、なおかつ、これもあると更に良いよねという議論をしていただきたい。</p>
佐田委員	<p>保小の高台移転については、旧下田中学校の校舎と一緒にするという認識で良いの</p>

	<p>か。一緒に校舎の中で問題はないのか。</p>
事務局	<p>旧下田中学校校舎と一緒に入るという認識でよい。他自治体での事例は幾つかあり、可能ではないかと考えている。</p>
岡村会長	<p>そういった面も今後検証という事になる。佐田委員の意見としては、1番や4番について賛成ということか。</p>
佐田委員	<p>有効活用可能な部分が余るのであれば他にもと思うが、学校と併用して一般企業が入れるのかという問題が出てくる。</p>
前田委員	<p>地元の人口が減少する中で、高台移転を行った後に小学校の再編計画が打ち出され、再度利活用を考える可能性があることを考慮しながら議論すべきと思う。</p>
岡村会長	<p>高台移転後に更に学校が移ることは想像したくはないものの、人口が減っていく中では可能性も否定できない。</p> <p>ただ、高台移転をすることで、現状で子どもたちの安全を守れる。何より、安心して地域で暮らせる環境が作れるのが大きい。色々な人を呼べるようになれば、さらに地域としての発展が期待できる。</p>
尾崎委員	<p>下田三地区の代表として要望書も提出したが、1番に関しては最優先で強く希望する。その後、余ったスペースがあればセントラルキッチン等の企業が入り活用出来ればと思う。</p> <p>例えば、13番は旧下田中学校の校庭の一部に建物を建設し営業するような案はあるのか。</p>
事務局	<p>現時点では、旧下田中校舎での整備を想定しており、校庭や異なる場所での整備については聞いていない。</p>
岡村会長	<p>別途建設する場合、必要となる費用が大きく変わってくる。財政負担に関する考え方も変わるのではないか。</p> <p>ただ、現時点では校舎での併用も可能かどうか未知数であるため、併用できるのであればあった方がよいという意見は積極的にいただきたい。</p> <p>また、13番については、下田になくて良いという話でなく、最も重要な案を阻害するのであれば他でも良いのでは、という意見と捉えている。</p>
久保委員	<p>子どもたちの命を考え、1番の高台移転が第一と思っている。旧中医学の方に関しては、4番の子育て複合施設に賛成する。子どもの一時預かり場所としても良いし、観光に来ていただくような施設でも良いのではないかと。</p> <p>また、山本委員の意見に賛同である。自分自身がファミリーサポートセンターを運営する中で、シニア世代と子どもたちが交流を行うことにより、双方が信頼関係を築き、シニア世代ならではの知見を子どもたちに伝えられる場面があった。8番のフレイル予</p>

	<p>防センターがあれば、そのような交流が出来るようになるのではないかな。</p> <p>加えて、歴史ある地域である下田だからこそあるものが欲しい。</p> <p>更に言えば、四万十市の特色あるものが食べることのできるような場所にし、お金が落ちるような仕組みも取り入れられればと思っている。</p>
岡村会長	<p>1番と4番、更に8番を加えるという話だったかと思う。また、新たな意見として、下田の歴史や立地的な特徴を生かしたものはどうかというお話や、食事ができて地域にお金が落ちるような取り組みもどうかというもの。</p> <p>個人的には、外部との接点が出来るといった場が、基礎的なものが出来ていれば加えても良いのではないかなと思う。</p>
宮村委員	<p>委員の皆さんの意見は1番と4番になっているようだ。</p> <p>高台移転については、反対する人は居ないと思う。単に空間のやりくりの問題で、今の旧校舎を使うのか、新たに施設が必要なのかということ。</p> <p>旧中医学に関しても預かり施設、フレイル施設にするのか等はあるものの、今後実現すれば大変良い話になるのではないかな。</p>
岡村会長	<p>1番と4番については問題ないというご意見と捉えている。</p>
三浦委員	<p>建物全体を一つの目的で使い切ることは難しいため、基本的には複合的な形で利用するのが良いのではないかな。</p> <p>13番のセントラルキッチンがあれば、1月18日の検討会委員を対象とした勉強会で宮崎委員の話の中にあつた、災害時における食事の確保の問題に対応出来るという見方もできる。</p> <p>また、前田委員の意見と近いが、少子化の流れの中で保育園と小学校の将来を考えた時に、その移転が一番なのかとも考えうるのではないかな。</p> <p>利活用案の一覧には無いが、スポーツツーリズムに関連させ、旧下田中学校の校舎2～3階を宿泊施設として貸し出すのはどうだろうか。災害時には畳のある所へ避難できる。</p>
岡村会長	<p>余剰スペースがある前提となるが、宿泊施設は外との接点になり非常時にも機能する良いアイデアではないかなと思う。</p>
宮崎委員	<p>委員各位から貴重なご意見をいただいている。下田三地区区長会が令和5年5月26日に市に対し要望した中でも、保育所及び小学校だけの活用のみならず、市民の生涯学習施設や情報通信施設が整っていることからベンチャー企業等の誘致、多機能複合施設として活用も掲げている。</p>
山下委員	<p>1番に関しては、今後再編も考えられるので子どもの数を見ながらやっていく必要があると感じている。</p> <p>4番、8番に関して、運営経費の視点が必要ではないかな。整備の補助金も重要だが、維持管理していくためのお金について、現時点で算出することは難しくとも、最終的に</p>

	<p>は整理する必要があるだろう。市が大きく手を広げるような計画を持ち出すと、将来的にその負担が後の世代にかかっていくことになるため、維持管理の視点は必要と思う。</p> <p>逆に、セントラルキッチンのような企業に貸すことができれば、収入があり、維持管理を会社に任せることもできる。</p> <p>個人的には、【資料②】評価において◎が3つある案を引き続き検討してほしい。</p> <p>また、13番が気になっている。魅力的な提案をいただいているが、四万十市内に何千食のニーズがあるのか、またその事業を持続して行けるのかについては言及されていない。今回の提案を基に、今後よりブラッシュアップした提案をいただけたらよいと考える。</p>
岡村会長	<p>財政負担のところで、行政依存で何か施設運営をしていくだけでなく、多様な資金や自分たちの力を使い持続可能な形で運営していくことも重要ではないかというご指摘と捉えた。</p> <p>また、施設の利活用では誰かに貸していくという視点もどこかであっても良いのではないか。</p>
須山委員	<p>山下委員の考えと同じ思いであり、個人的に今後減少する児童数に関して危惧しており、その一方で、魅力ある地域、魅力ある学校をPRすれば人も来るのではないかとの考えもある。現状では自分の考えをまとめられていない。</p>
有原委員	<p>災害時の被害について予測は難しいが、下田の高台は安全な場所と言われており、教育の観点及び地域復興のスタート場所としても大事なエリアになる。</p> <p>検討会の議論にはめ込むことではないが、下田では災害時における避難所運営での中学生が力になってくれることもあり、小中一貫校の議論を教育委員会の方で進めている。そういった期待も含め、安全な高台を教育機関として確保することは大切であると思っている。</p> <p>また、18番のShimoda Rebornは、検討会での検討はされていないが、学校の高台移転を含め、広範囲で下田を活性化させる提案であり大事だと思っている。【資料②】評価のうえでの財政負担も、デジタル田園都市国家構想交付金のみでなく、高台移転のものも含んだ評価となるのではないか。この案をもう少し検討してみてもよいのではないか。</p>
岡村会長	<p>18番は計画であり、複合的に下田を活性化しようとするものだが、具体的に計画内のどういった機能や施設があればよいとお考えか。</p>
有原委員	<p>18番は県有地の活用や、この学校の校舎があった土地だけでなく、より広い範囲で下田の活性化を図れる計画となっているが、検討会の中で議論ができていなかったと思う。</p> <p>13番関連で質問に対する説明があったように、18番に関してももう一度詳しく勉強しても良いのではないか。</p>
岡村会長	<p>検討会では、旧下田中学校と旧中医学研究所以外のエリアに幅を広げて考えることに</p>

	<p>はまだならない。今ある施設をどう有効活用するかというところで論点を絞り議論していただきたい。</p>
有原委員	<p>提案者によるプレゼンの短い時間だけでは、18 番の内容を把握することは難しいためもう一度考えてもよいのではないか。</p> <p>13 番に関しては、災害時の避難所での食糧確保は大事であるものの、1 番を除外してまでとは思わない。</p> <p>保小の高台移転が実現した場合、現在の立地スペースが空くため、企業の方にはそちらで開業していただき、食品の保管場所のみ高台にする等の方法もある。</p>
岡村会長	<p>18 番の広範な視点は、有効活用の視点としても有用であり、個々の施設のみに絞って考えるのではなく他との連携することも一つの価値になりえるというご指摘と捉えられる。</p>
阪本副会長	<p>委員の皆さまが出してくれものに加え、2 番の防災対応拠点が気になっている。同僚が能登半島地震で被災し、電波の通じない状態になり 2～3 日目に電波車が来てようやく生存確認が行えた。現在は通信環境がなくてはならない時代であり、電波が繋がらなければ何の連絡も取れず、情報も入ってこない。2 番のような施設があれば、住民の不安の解消にもつながる。施設的には一部でも可能ということなので、あってもよいのではないか。</p>
岡村会長	<p>一旦委員各位から意見を出していただいた。</p> <p>会長でなく委員としての意見は、今回の利活用において優先的にすべきことがありながらも、今後の人口減や高齢化を踏まえ、企業等が入り一緒にやっっていける、自分たちが外に出ていき名前を PR できるような外との接点や繋がりがどこかにあっても良いのではという気はする。</p> <p>検討会として意見をまとめるにあたり、1～18 番の活用案の中から全ての提案を採用することは困難であるため、提出いただいた案に対して敬意を表しながらも、今後重要視して検討すべきものを選んでいくことになる。</p> <p>施設利用の考え方として、優先的に議論すべき機能や早急に整理すべき機能を決定し、その機能を確保したうえで次の活用を考えていく。今までの議論において、委員の中で合意が取れており、かつ重要視しているものとして、1 番の下田保育所及び下田小学校の高台移転が挙げられる。また、4 番の子育て複合施設についても、同様に検討会として検討を進めて行きたいものと考えている。</p>
山本委員	<p>山下委員がおっしゃったような、後の運営まで考えないという前提で良いか。</p>
岡村会長	<p>考えなくてよいというわけではなく、今後検討を進めるうえで、まずはしっかりと検討会としての考えを出すべきではないかと思う。</p> <p>1 番と 4 番がある前提に立ち、4 番との連携する 8 番も意見をいただいた。</p> <p>また、13 番も検討会で議論されていた。ただ、1 番と 4 番より優先し考えるものではない。併設し、持続的な運営が可能であれば、災害時や市全体に対する役割を考え検討</p>

	<p>すべきものではないか。</p> <p>これらに基づき、検討会では1番、4番、8番、13番を選出したい。</p> <p>その他では2番の災害対応拠点や、13番が前提とはなるものの外との接点にもなるカフェ、具体的な活用案ではないものの市全体を考えた計画である18番が委員からはご意見をいただいた。この3点については、1番、4番、8番、13番ができた前提において、なおかつ、4つの機能を阻害せずスペースがあれば考えていくのが良いのではないか。</p>
三浦委員	<p>会長の意見に賛成である。</p> <p>基本的には地域にお金落ちる仕組みが大事であると思う。下田地域で完結できるような経済活動を行う事により、活性化していくものはある。どこかにお金落ちる仕組みを取り入れていかなければならないのではないかと考えている。</p>
岡村会長	<p>次回の検討会に向け、1番、4番、8番、13番についてPTの方で更に検討を進めていただければと思う。そのうえで、スペース的な空きがあり連携できるのであれば、地域の活力や災害時の防災機能の強化ができるものを考えたい。</p> <p>これをもって、(1) 検討事項有効活用案の評価についてを終えたい。</p>
有原委員	<p>18番は1番や8番等も含んだ案であり、もう一度検討会の委員で勉強を行いたい。</p> <p>18番の中においては、県有地を解除し移住促進のための施設を作り、お試し住宅として使うものに注目している。</p>
岡村会長	<p>検討会での議論は、施設の有効活用にいったん絞らせていただきたい。</p> <p>また、検討会での時間的制約の中で、これから勉強となると結論がつけづらくなる。</p> <p>1番、4番、8番、13番が出来る前提において、その後の空白地については検討会の中での提案を活用したい。</p>
事務局	<p>検討会での結論についてより具体的内容や運営について可能な範囲で検討し、次回の検討会でその結果を報告させていただきたい。</p> <p>18番については、地域活性化のビジョン等の基本計画に関わる大きなテーマになる。検討会はより具体的な計画の検討していただくところであり、今後検討会で18番の内容を深めることは時間的にも困難ではないかと考えている。</p>
片岡委員	<p>(2)その他</p> <p>旧下田中学校体育館を見学したが、下田の人数規模から見ればかなり大きな体育館であると思う。体育館としての最低限の機能が担保されたうえであれば、一部を改修し、他施設に利用するのも良いのではないか。</p>
岡村会長	<p>5 その他</p> <p>次回の検討会の日程について。</p>
事務局	<p>本日の選定された活用案に基づき、PTで検討検証や資料作成を行い、検討会に対し提</p>

阪本副会長	供する。会は3月の上旬～中旬までに行うことを予定している。 6 閉会 閉会を宣言し終了。 以上
記録者	企画広報課施設活用推進室 永野 友裕